

滝上町立滝上中学校 学校だより

滝上町学校教育目標 学ぶ意欲・豊かな心・健やかな体

重点目標：「向上心をもって、主体的に学び合う生徒」の育成

一年間を振り返って～「予測困難な時代」に生きる力～

校長 田 口 雅 和

このところの世界情勢は、ロシアのウクライナへの侵攻や新型コロナウイルス感染症の広がりにより、わが国の政治や経済にも大きく影響を与えております。このような先行き不透明な現状と併せて、努力すれば成果が得られるというかつての高度成長期とは違った社会状況も見られます。それだけに、教育においては、これまで以上に社会の変化に主体的に関わって困難を乗り越える力の育成が強く求められます。

文部科学省の中央教育審議会では、令和3年1月に『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して』と題した答申を発表しました。それによると、一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要とされています。具体的に学校教育では、大きく次の2点を行うことが求められています。

①個別最適な学び

- ・指導方法や指導体制の工夫改善により、「個に応じた指導」の充実を図る。
- ・ICT環境の活用、少人数によるきめ細かな指導体制を整備する。
- ・「主体的・対話的で深い学び」を実現し、子供たちに必要な力を育む。

②協働的な学び

- ・探求的な学習や体験活動等を通じ、子供同士で、あるいは多様な他者と協働する。
- ・一人一人のよい点や可能性を生かすことで、異なる考え方が組み合わせられ、よりよい学びを生み出す。

さて、今年度滝上中学校では、①・②を意識して教育活動を進めてきました。これらによる成果は、すぐ目に留まるものではなく、時間を経て得られるものも多いですから、評価に窮するものです。しかし、生徒の授業に取り組む姿、行事に向かう姿勢、友達に接する姿や言葉遣い、毎日の挨拶などの礼儀等々を見ていると、これからの時代に必要な生きる力を確実に身に付けてきていると実感できます。1年ごとの成長は、3年間で大きく熟します。今年度も立派に成長した卒業生を送り出すことができました。この1年間滝上中学校を支えていただいた保護者・地域の方はもちろんのこと、教職員にも感謝いたします。ありがとうございました。